

橋北中だより

BRIDGE ~あの橋をわたるとき~

『学校通信』

No. 14

令和6年12月16日



橋北中 HP

「トライ&エラー」の大切さについて…

先週の三者懇談会で通知表を見て、「あれ？こんなはずでは…。」とか、「ちゃんとやっとなのに、成績は上がらへん。」と残念な気持ちになった人がいるかもしれません。思うように結果が出ないと、途中で挫折してしまいそうになりますよね…。

「努力は報われる」誰も耳にしたことがある言葉だと思います。しかし、実際は努力したのに報われないことも多いです。テスト勉強をしたのに、点数があがらない。このような経験は、誰も通る道だと思います。**「結果があらわれるのには時間がかかる」**ともいわれます。この結果のために努力することは必須です。しかし努力をしても報われないのでは、その努力はしなくていいのでは？と考えてしまいたくなりますよね。

結論から言うと、**「正しい努力は報われる」**です。ですから努力しなくていいという事は決してありません。それでは正しい努力とはなにか？**「正しい方法で、正しい方向に向かって、正しい距離感で、十分にした努力」**です。正しい方法は、自分に合っている方法です。正しい方向は、ゴール（目標）のために必要なことです。正しい距離感とは、ゴールまでの期間です。十分にした努力は、レベルごとの量です。正しい勉強法は模倣でもいいのですが、言われるままの勉強法ではなく、**勉強法を自分流にアレンジ**してください。これは思考し失敗を重ねることになります。いわゆる**トライ&エラー**ですね。この**失敗経験は自身で経験することでしか身に付きません。**



次に、目標のために進むべき方向を見誤らないことです。カーナビをイメージしてもらえば分かりやすいと思います。現在地と目的地を入力すると、いくつかのルートが出てきます。最短時間なのか、金額が安いのか、走行距離が短いのか。目的に合わせて選択していきますよね。しかし、そもそもナビの示す方向と違う方向に進むと、軌道修正をするために通らなくてもいい道を進むこととなります。この現在地が現状の学力で、目的地が目標です。そ

してルートが方向性となります。より効率的なルートを選ぶ必要があります。

3つめの正しい距離感とは、**時期によって勉強内容を変えること**です。ゲームに例えると、ボス戦前なのに最初の頃の雑魚キャラを倒しても、得られる経験が少なくて、レベルアップに時間がかかり非効率です。その時期に合わせた必要となる勉強内容を意識してください。最後の十分にした努力は、前出の3つをやってこそなります。やはり最後は勉強量かものを言います。しかし、何も考えずただ数をこなすだけでは効果は低くなります。繰り返し同じ問題を間違えるのであれば、それをどうすればいいのか、**解決するためのトライ&エラーが必要**です。

このように、努力の方向性を間違えると結果に繋がらず、頑張ったのに報われないという事態に陥ります。そうなるとモチベーションが下がりますし、最悪の場合は自己肯定感にも影響します。ですから今日から**「正しい努力は報われる」**に意識を変えていきましょう！このお話については、23日（月）の2学期終業式でも少し触れようと思います。

3年生保育実習（11月26日）

この日、3年生は橋北こども園さんにお邪魔して、保育体験をさせていただきました。園児たちのパワーに圧倒されながらも、中学生が温かい大人の眼差しで園児の動きを見守ったり、言葉を選びながら語りかけている姿に、おおよそ10年間の人間としての成長を感じずにはいられませんでした。こども園のみなさん、いつも快く迎え入れていただき、ありがとうございます。



校区人権フォーラム（12月5日）



この日の午後は、橋北小学校体育館で校区人権フォーラムを行いました。小学校からは6年生が、中学校からは1,2年生が参加し、アクティビティ『100になるろう』では、困っている人やしんどい思いをしている人がいることを見過ごしてしまっている自分がいることに気づくことを目的としました。その場にいる人全員が幸せな気持ちになるためにはどうしたらよいか？…まさに「ウェルビーイング」についてみんなが考える良い機会になりましたね。その後は「差別をしない」と「差別をなくす」の違いについてグルー

プ討議をしながら意見交流を行い、自分もみんなも「なくしていく」という思いを持つことや、それを行動に移すことの大切さを全員で学び、人権についての感覚を高めることができました。

橋北小学校6年生の皆さんや先生方、本当にありがとうございました。

第4回コミュニティスクール運営協議会

12/9の15時から、第4回のコミュニティスクール運営協議会を開催しました。例年この時期は、生徒会メンバーとの交流をおこなっていますが、今年は、生徒会のメンバーに2年生の学級委員を加えての交流をおこないました。まず、生徒会メンバーより、新たなレクを企画してみんなに楽しんでもらえる学校や地域の中であいさつができる学校など、どのような学校にしたいか思いを伝えました。同じように2年生の学級委員より、自分らしさや個性を生かすことができる学校にしたいという思いが出されました。それぞれの思いに対して、コミュニティスクールのメンバーの方々は、質問をしたり、意見を言ったりしながら、生徒の出した思いをより具体的に深めていただきました。今日のこの会から出てきた意見が、今後の生徒会活動などのヒントになればと思います。委員の皆さま、いつも本当にありがとうございます。



保護者の皆様へ

「行事が多い2学期」でしたが、子どもたちとともに一目散に走り抜けた感のある約4か月でした。その中で、様々な試みに挑戦し手ごたえを感じることができたのも、保護者・地域の皆さまのご理解、ご協力があったからこそだと感じています。本当にありがとうございます。

しっかり頑張った子ども達です。走り続けてきた心と身体がリフレッシュする休みにしてあげてください。

& 良いお年をお迎えくださいませ。来年もよろしくお祈りします。

橋北中学校長 丹羽 浩也

ありがとうございました

